



屋内用

CATV・BS・CSブースター

取扱説明書



CATV・BS・CS BOOSTER

伝送周波数帯域
CATV下り: 70~770MHz
BS・CS : 1032~2602MHz

7BCLB25

AC100V方式

F型端子 **25dB型**

宅内の、テレビ信号の分配損失を補償するブースターです。

2600MHz 対応

BS・110°CSデジタル放送対応



各部の名称と機能

上面

ACコード

(約1.8m)

ACコードを延長するために、途中で切断して別のコードをつなぐことは、電気設備技術基準で禁じられています。

BS・CS利得調整

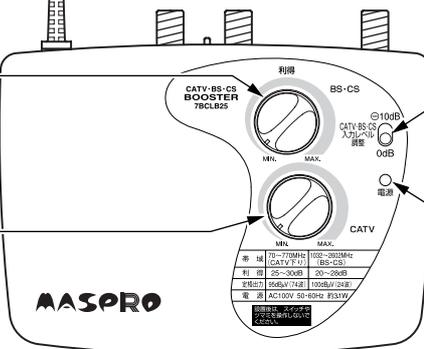
- 1032~2602MHzの出力レベルを0~ \ominus 10dBの範囲で連続して調整できます。
- 出荷時は「MIN.」になっています。

CATV利得調整

- 70~770MHzの出力レベルを0~ \ominus 10dBの範囲で連続して調整できます。
- 出荷時は「MIN.」になっています。

ご注意

- CATV上り信号は通過しません。
- 本器にケーブルモデムやケーブルモデム内蔵セットトップボックスを接続して、CATVインターネットを利用することはできません。
- 設置後は、スイッチやツマミを操作しないでください。



CATV・BS・CS入力レベル調整 (\ominus 10dB)

- 入力レベルが低い場合、「0dB」にします。
- 出荷時は「 \ominus 10dB」になっています。

電源表示灯

利得調整について

入力レベルが高い場合、「MAX.」(右)にすると、画像にモザイク状のノイズが出たり、画像が見えなくなったりすることがあります。(アナログ放送では、ビート縞、ワイパー現象が出ることがあります)

背面

入力端子

(F型コネクター)

分岐出力端子

(F型コネクター)

結合量切換スイッチによって、出力端子より \ominus 10dBまたは \ominus 20dB低いレベルでテレビ信号が出力されます。

出力端子

(F型コネクター)

結合量切換スイッチ (\ominus 10, \ominus 20dB)

- 分岐出力端子の出力レベルが高い場合、「 \ominus 20dB」にします。
- 出荷時は「 \ominus 10dB」になっています。

DIGITAL デジタル放送対応 各種デジタル放送を、より高画質で見するために、妨害電波の影響を受けにくい、高いシールド性能を備えた機器にマスプロ電工が表示している、信頼のマークです。

だから



無鉛はんだの採用、カドミウム・水銀などの不使用により、RoHS指令に対応。

入力レベルの設定について

ブースターは、過大な入力レベルで作動させておくと、故障の原因となります。使用する前に必ず確認してください。

入力レベルの確認方法

レベルチェッカーまたはスペクトラムアナライザーで、CATV、BS・CSの各帯域ごとの入力レベルを確認してください。

CATV下り帯域 (74波伝送時)

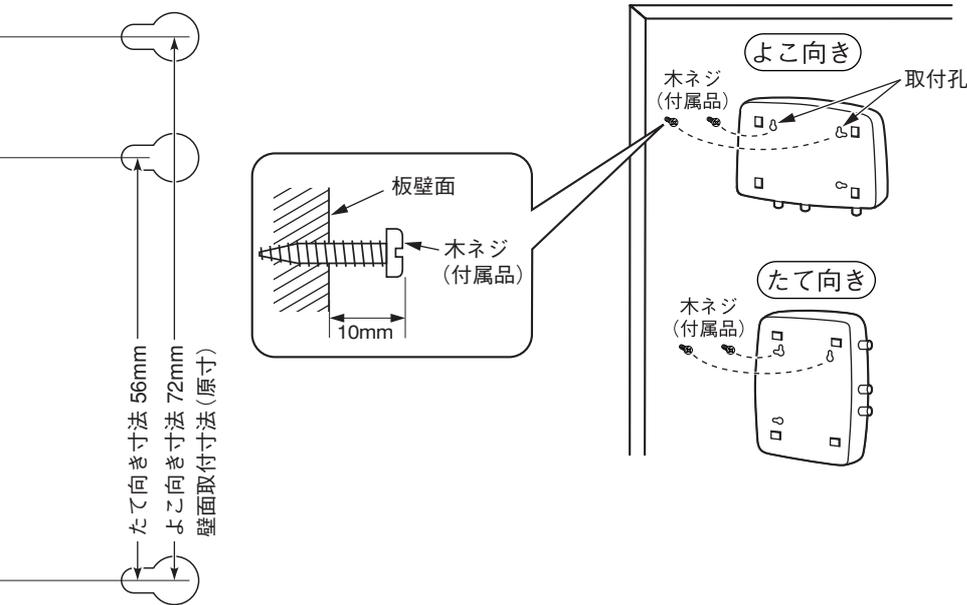
- 入力レベルが85dB μ V以下 (利得調整「MIN.」, CATV・BS・CS入力レベル調整「 \ominus 10dB」のとき) になっているか確認してください。
- 入力レベルが85dB μ Vを超えるときは、別売のアッテネーター ATT1.5,3,6,10,15,20を使用して、85dB μ V以下にしてください。

BS・CS帯域 (24波伝送時)

- 入力レベルが92dB μ V以下 (利得調整「MIN.」, CATV・BS・CS入力レベル調整「 \ominus 10dB」のとき) になっているか確認してください。
- 入力レベルが92dB μ Vを超えるときは、別売のアッテネーター ATT1.5,3,6,10,15,20を使用して、92dB μ V以下にしてください。

板壁面取付方法

- ① 付属の木ネジ(2本)を板壁面に取付けます。
(板壁面に取付けるときは、下記の寸法で木ネジの位置とねじ込みの高さを決めてください。)
- ② 本器背面の取付孔に木ネジを引っ掛けます。



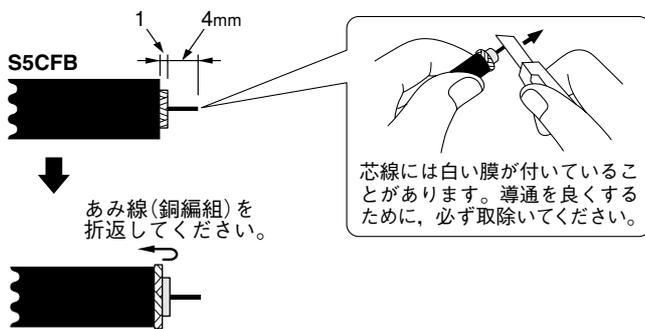
ご注意

- ACプラグは、宅内の配線工事がすべて終了してから、ACコンセントに接続してください。
- 本器をAMラジオの近くに置くと、ラジオから雑音が出ることがあります。
- ブースターは、グラスウールのような断熱材の上に置いたり、包んだりしないでください。内部温度が上昇して、故障の原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならないときは、ACプラグをACコンセントから抜いてください。

F型コネクタの取付方法

- F型コネクタC15FP5 (5Cケーブル用) は別売です。
- 接触不良やショートを防ぐため、プラグははいていないに取付けてください。

① ケーブルの加工 (加工寸法は原寸大です)

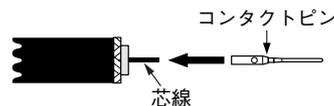


ご注意

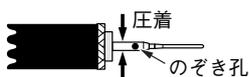
コンタクトピンは、必ず、専用の圧着ペンチで圧着してください。

② コンタクトピンの取付け

1. コンタクトピンを芯線にはめてください。

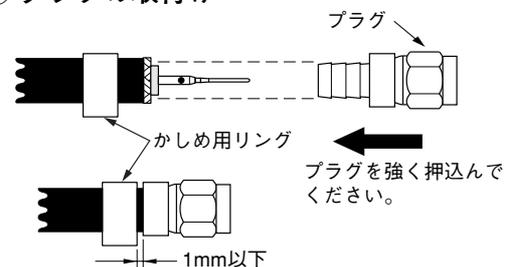


2. のぞき孔から芯線が見えるのを確認してから、専用の圧着ペンチでコンタクトピンの根元を圧着してください。

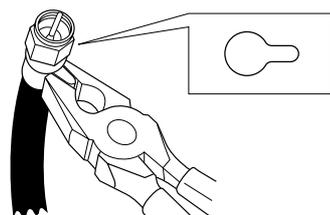


コンタクトピンを前後に動かして、しっかり圧着されていることを確認してください。

③ プラグの取付け



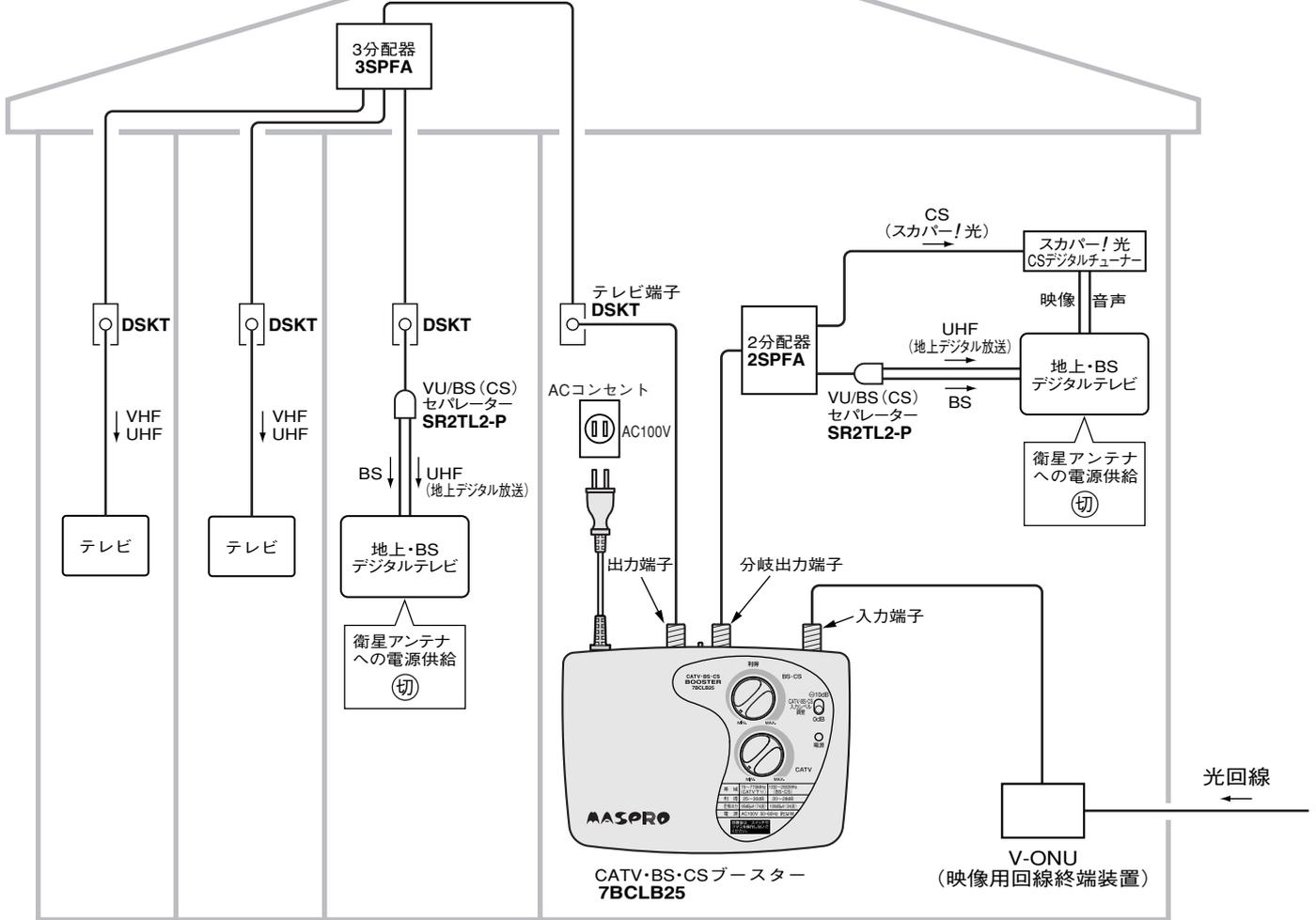
④ かしめ用リングをペンチで圧着



使用例

スカパー! 光受信

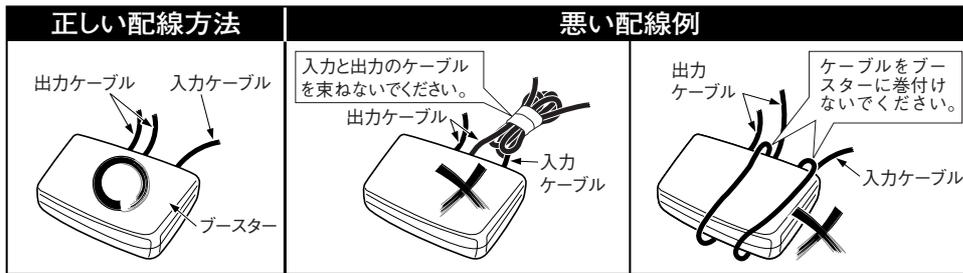
(逆送り配線)



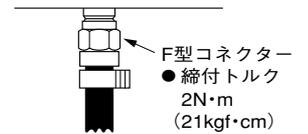
ブースターの配線について

ブースターを正常に作動させるため、正しく配線してください。

- ① 入力と出力のケーブルは、束ねたり、ブースターに巻付けたりしないでください。
- ② 入力端子・出力端子の接続は、確実に行なってください。



F型コネクタでケーブルを接続する場合、指定のトルクで締付けてください。



正しく使用していただくために

予定の出力レベルまたはよい画質が得られないときは、次のチェックをしてください。

- ① 画質が悪い
入・出力レベルが正しく調整してありますか。
- ② 入・出力
● 入力と出力が逆に接続していませんか。
● 出力端子、分岐出力端子は正しく接続してありますか。
- ③ 出力端子に信号が出ない
入力信号がきていますか。
- ④ ケーブル・コネクタ
断線またはショートしていませんか。
- ⑤ 電源表示灯
点灯していますか。電源(AC100V)が供給されていますか。

以上の方法でもトラブルが解決できない場合、技術相談まで、お問合わせください。

木ネジ(板壁面取付用)……………2本

項目 Items	規格	
	CATV下り	BS・CS
伝送周波数帯域 Frequency Range	70~770MHz	1032~2602MHz
定格出力レベル Rated Output Level	95dB μ V(74波) 97dB μ V(57波) ※1 99dB μ V(32波)	100dB μ V(24波)
利得 Gain	25~30dB	20~28dB
入力レベル調整 Input Level Control	0, \ominus 10dB切換	
利得調整範囲 Gain Control Range	0 \sim \ominus 10dB以上(連続可変)	0 \sim \ominus 10dB以上(連続可変)
周波数特性 Gain Response	3dB以内	5dB以内
分岐出力端子結合量 Tap Value of Branch Output Port	\ominus 10, \ominus 20dB切換	
雑音指数 Noise Figure	8dB以下	5dB以下
インピーダンス Impedance	75 Ω (F型コネクター)	
VSWR Voltage Standing Wave Ratio	2以下	2.5以下
相互変調 Intermodulation	\ominus 65dB以下	\ominus 60dB以下(24波) ※2
CTB Composite Triple Beat	\ominus 60dB以下	—
CSO Composite Second Order Beat	\ominus 60dB以下	
混変調 Cross Modulation	\ominus 56dB以下	
耐雷性 Surge Protection Voltage	\pm 15kV(1.2/50 μ s)のサージ電圧に耐えること	
使用温度範囲 Temperature Range	0 \sim \oplus 40 $^{\circ}$ C	
電源 Power Requirements	AC100V 50 \cdot 60Hz	
消費電力 Power Consumption	約3.1W	
外観寸法 Dimensions	39(H) \times 152(W) \times 122(D) mm	
質量(重量) Weight	約390g	

※1 デジタル信号は \ominus 10dB運用。
※2 2信号3次ひずみの値です。

マスプロの規格表に絶対うそはありません。
保証します。

保証書

CATV・BS・CSブースター保証書

お客様ご住所	
TEL.	—
★お客様お名前	様
★保証期間	
お買いあげ日	年 月 日から1年間
★ご販売店・住所	
TEL.	—

★印の欄にご記入のないときは、無効になります。必ず記入してあることをご確認ください。もし、記入がないときは、ただちにお買いあげの販売店にお申出ください。本書は再発行いたしませんから、紛失しないよう大切に保管してください。

MODEL 7BCLB25 持込修理

- 取扱説明書などの注意にしがった正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合、本書をご提示のうえ、お買いあげの販売店に修理をご依頼ください。無料修理させていただきます。
- つぎのような場合、保証期間中でも有料修理になりますから、ご注意ください。
 - ・本書のご提示がない場合。
 - ・本書にお客様お名前、お買いあげ日、ご販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
 - ・火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧、およびその他の天災地変による故障、ならびに損傷。
 - ・ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障、ならびに損傷。
 - ・お買いあげ後の落下、および輸送上の故障、ならびに損傷。
 - ・接続する機器の故障により誘発する故障、および損傷。
 - ・一般家庭用以外(たとえば業務用および車両・船舶への搭載)に使用されたときの故障、ならびに損傷。
 - ・設置工事、施工の不備によって生じた故障、および損傷。
- 本書は日本国内に限り有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

本書に明示した期間および条件で、無料修理をお約束します。保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できるときは、お客様のご要望により、有料修理いたします。なお、ご不明な点がありましたら、お買いあげの販売店にお問合わせください。

＝マスプロ電気株式会社＝

本社 〒470-0194 (本社専用番号)愛知県日進市浅田町上納80
営業部 TEL名古屋(052) 802-2244

登録意匠 第1166284号

＝マスプロ電気＝

本社 〒470-0194(本社専用番号)愛知県日進市浅田町上納80
技術相談

0570-091119

ナビダイヤル。固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます
IP-PHS(ナビダイヤルが利用できない)電話からは052-805-3366
受付時間 9～12時、13～17時(土・日・祝日、当社休業日を除く)

インターネットホームページ www.maspro.co.jp
技術相談以外は、お近くの支店・営業所にお問合わせください。

営業部 支店・営業所

- 首都圏(シ)(03)3499-5632
- 西日本(シ)(082)230-2359
- 鹿児島(099)812-1200
- 中日本(シ)(06)6632-1144
- 北日本(シ)(022)786-5062
- 福岡(支)(092)551-1711
- 沖縄(098)854-2768
- 鹿児島(099)812-1200
- 宮崎(0985)25-3877
- 熊本(096)381-7626
- 長崎(095)864-6001
- 北九州(093)941-4026

- 下関(083)255-1130
- 広島(支)(082)230-2351
- 松江(0852)21-5341
- 岡山(086)252-5800
- 松山(089)973-5656
- 高知(088)882-0991
- 高松(087)865-3666
- 大阪(支)(06)6635-2222
- 姫路(079)234-6669
- 神戸(078)231-6111
- 京都(075)646-3800
- 東海(工)(052)804-6262
- 名古屋(支)(052)802-2233
- 津(059)234-0261
- 岐阜(058)275-0805
- 豊橋(0532)33-1500
- 静岡(054)283-2220
- 松本(0263)57-4625
- 福井(0776)23-8153
- 金沢(076)249-5301
- 関東(工)(03)3499-5631
- 首都圏電材(営)(03)5469-5521
- 東京(支)(03)3409-5505
- 新潟(025)287-3155
- 横浜(045)784-1422
- 八王子(042)637-1699
- 千葉(043)232-5335
- さいたま(048)663-8000
- 前橋(027)263-3767
- 水戸(029)248-3870
- 宇都宮(028)636-1210
- 仙台(支)(022)786-5060
- 郡山(024)952-0095
- 盛岡(019)641-1500
- 秋田(018)862-7523
- 青森(017)742-4227
- 札幌(011)782-0711
- 釧路(0154)23-8466
- 旭川(0166)25-3111
- (営):営業グループ
- (シ):システム営業グループ
- (工):工事グループ